

寄宿舎での取組 ～「社会体験」～

寄宿舎では、舎生一人一人の課題や目標の達成を目指し、生活プロジェクトという活動を行っています。今年度は、「防災食作り」「感染症について学ぼう」「社会体験」「身近にできるSDGs」などを計画しました。その中で「社会体験」について実施した様子や舎生の感想を紹介します。

活動内容と様子

徳島バスを利用して非常食の買い物に行きました。公共交通機関を利用するのは初めてでしたが、落ち着いて乗車することができました。買い物は、災害時にどんな物なら非常食になるのか、また所持金でどんな物が購入できるのかを考え、計算機を使用して買い物をしました。支払いが終わる最後まで、予算の心配をしてドキドキしたようです。



感想

金額を計算しつつ、安くて多い物、自分が食べれる物を選ぶという作業がすごく大変で、母はすごいなと実感しました。でも、楽しかったです。

活動内容と様子

学校から徒歩10分程の距離にあり、災害時地域の防災拠点となる「道の駅」まで歩いて行きました。検温・手指消毒を自主的に行い施設内を見学。ソフトクリームを買って食べました。その後、初めての足湯にチャレンジしています。



担任より

足湯では、足を浸けるまで緊張感が伝わってきましたが、浸かってみると…みるみる表情が和らいでいくのがわかりました。最後には、笑顔でリラ～ックス。

今年度は、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、3密回避、体温や健康チェックなど「新しい生活様式」を取り入れ、安全に活動することができました。

今後も保護者のニーズに寄り添い、担任指導員と舎生が楽しみながら計画し、有意義な体験活動となるよう取り組んで参ります。

※寄宿舎の活動内容や行事については、随時HPに掲載しております。